

キッズみんなの日記

8月号

九月に入った今も厳しい残暑は衰える様子もありません。しかし、朝夕に吹く風が秋の香りに変わっているのは不思議ですね。夜には涼しげな虫の声も聞こえてきます。やはり、秋はそこまで来ているのでしょうか…。夏休み中、みなさんの日記には本当に元気をもらいました。楽しい思い出がたくさん詰まっています。早速、優秀作品の紹介です。

優秀作品紹介

★気持ちの変化を生き生きと伝える★

バレエの発表会

昨日、バレエの発表会がありました。朝早くから、電車にのって中野に行きました。電車の中はギュウギュウ詰めでした。かみの毛のおだんごがぶれないか心配でした。

ホールに着くと、まず練習をしました。つぎに、おべんとうを食べました。食へ終わったら、おけしゅうをしました。ぶたいにでてちよとドキドキしました。しっばいしないでおどられました。

さい後のフィナーレでは、おきやくさんといっしょにもりあがりました。すごく楽しかったです。(小三・Hさん)

朝早く慣れないラッシュアワーの電車にゆられ大変でした。舞台上上がったHちゃんが、観客と一体になってキラキラ踊る姿が目につかぶようです。「心配→緊張→満足感」と、気持ちの変化を見事に生き生きと表現しています。

スプラッシュマウンテンに乗った

東京ディズニーランドに八人で行きました。一番楽しかったのは、スプラッシュマウンテンです。ファストパスを持っていたので、順番が来るのが早かったです。

スプラッシュマウンテンは八人乗りの木のボートに乗って、うさぎやおかみやくまの物語を見ながら楽しく進みます。いたずらうさぎがつかまったら、ボートが登ります。ついに一番上につくと、ボートがまっさかさまに落ちます。その時、心臓が止まりそうでした。写真に写るために、一生けん命に顔を上げました。声も出ませんでした。落ちたときに水を浴びました。すずしかったし、気持ち良かったです。写真を見たら、ちゃん

と上を向いていますが、かみのけが上にながってしまいました。お兄ちゃんが初めてのピースをやっていました。また乗りたいけどもう十時だったので乗れません。

スプラッシュマウンテンの説明がとても上手に書いていますね。また、ジェットコースター特有のスピード感を感情の変化と共にテンポ良く表現しています。Jちゃんの表情がくるくる変わる様子が目につかぶようです。本当に楽しそう！

★印象に残った場面をうまく書き広げる★

千倉潮風王国

今日は、朝から千倉の潮風王国へ行きました。起きる時間が午前四時だったので、つらかったです。でも、車で三時間かかるので、一時間は寝ました。

やっど潮風王国についた時には、もう七時すぎくらいでした。その後、車の中で潮が引くの待ちました。

九時半頃に、海辺へ行きました。そこには、貝やイソギンチャクなどがありました。その中で一番探るのに苦労したのは、カニです。中でも大きめの五センチほどのカニです。頑張って穴からカニをおい出して、手で探ろうとしました。そうしたら、はさみで思いっきり親指をはさまれてしまいました。体は小さいけれど、その力は強くて、思わず声が出てしまうほどでした。とろろとしても、はさみがギューッとほさんで肉にくい、こんではなれません。バケツのそこにおくと、やっどはなしてくれました。(ちいさいくせにすごい力だね。)

お父さんとゴグルをつけて、海へもぐって魚とりもしました。くさぶぐなどの魚もいました。でも、魚のほが速くて、全く網に入りません。一匹も採れずに海から上がりました。

今日は、カニを採ったり、海にもぐったりして楽しかったです。また連休の日に来ようとお母さんも言うので、また来たいです。(小三・YK君)

「痛い」と思わず読みながら顔をしかめてしまいましたね。たぐさんの経験をした楽しい一日の出来事を、見事に簡単にまとめて、印象に残ったカニのエピソードを生き生きと書き広げています。メリハリのある素晴らしい文章です。K君、また腕をあげましたね！これからも楽しみにしています。

ドッチボール

今日の休み時間はいつもの八人でドッチボールをやろうと話し、ドッチボールをやりました。

でも、ぶつうのだとつまらないので、ぼくは、二重丸をかき、中の円に二人入り、周りの円からねらい打ちをする遊びを考えました。とても楽しく、みんなで盛り上がり、一人が中でボールをとり、サッカーボールに投げ入れられました。

そして、またぼくはひらめきました。中の人はボールをとったらゴールに入れ、多く入れた人の勝ちというゲームを考えました。それも、とてもおもしろく、みんなでも『ドッチボール』と名付けました。また、明日もみんなでやりたいです。(小六・SI君)

一緒に遊んだ友達の様子を書くことで、1君のアイデアから生まれた「ドッチボール」で盛り上がる様子を生き生きと書き広げていますね。「そして、またぼくはひらめきました」というフレーズは、読む者をワクワクした気持ちにさせる印象的な書き出しです。見習いたいテクニックですね！

★段落の構成を考えてバランスよく★

コンクール

今日、千葉県文化会館でコンクールがありました。去年は銀賞だったので、今年には金賞をねらっていました。

朝起きたときは、まったくきんちようしなかつたけど、制服を着たらどきどきしてきました。バスで文化会館まで行って、ひかえ室で練習して、会場の舞台裏でまわっていました。

ぼくは六年生だから、最後なので気持ちよく終わりたいです。

順番が回って柏井小の番になりました。曲は「バンドのための民話」という曲で、去年ほかの小学校がやっていました。

とても大きな会場なので、お客さんがたくさんいて、とてもきんちようしてきました。心ぞうもぼくはくしてききました。曲をやっている時、どきどきしたけど失敗はなく、自分ではとてもよかつたと思います。

結果発表のとききました。賞は、金賞、銀賞、銅賞があります。柏井小の番がきました。

「柏井小学校……銀賞。」
目標にはとどかなかつたけど、銀賞なのでよかつたかなと思います。(小六・SD君)

「目標」→「コンクールの様子」→「結果、感想」と段落構成が非常にスマートです。緊張の場面では、D君の心臓の音が聞こえてきそうですね！目標まではあと一歩でしたが、銀賞は立派です。お疲れ様でした。そして、銀賞おめでとう！

●今月の「伊藤先生のおすまめ本」のコーナーは紙面の都合によりお休みさせていただきます。ご了承ください。来月号をお楽しみに。